

第2回 高島鞆之助賞

～芥川賞作家 三田誠広氏(小72・中15期)受賞～

田口 順一 (小78期)

去る7月7日、大阪城スクエアで開催されました「追手門学院後援会の集い」で山桜会からも推薦いたしました三田誠広さんが平成24年度の高島鞆之助賞を受賞されました。誠におめでとうございます。今年は一名のみの受賞となりました。

三田さんは、1961年追手門小学校卒業(72期)、1964年追手門学院大手前中学校を卒業(15期)されました。高校生の頃より執筆活動を始められ、たくさんの著書を出されておられます。「僕って何」で芥川賞を受賞されました。また、追手門学院大手前中・高において何度も講演をされており、学院の発展にも大いに寄与されておられる方です。

私は、早速、アマゾンドットコムで「僕って何」と「西行 月に恋する」を購入し、読んでみました。

「僕って何」はとにかくストーリーが面白くて、3日間で読んでしまいました。人に流されやすい性格の主人公が、強い個性の人たち、とりわけ強引な性格の女性に引っ張られて大学紛争にのめり込んでいく話です。実は草食系男子学生であった私自



身とそっくりでありまして、主人公に自分の学生時代を見た気がしました。

「西行 月に恋する」の主人公、佐藤義清(後に西行)は、流鏑馬(やぶさめ)の達人で、蹴鞠(けまり)もこなし、和歌の天才で、正に文武

両道のすごい男です。しかし、それより遥かにわがままで強い性格の絶世の美女、待賢門院璋子という女性が登場します。どうも三田さんは、こんな強い女性がお好きな様です。その二人の恋愛歴史ドラマであります。映画を見るような気持ちで、この本を読みました。

この二冊以外にも、いろんな本を書かれておられます。皆様もこれを機会に三田さんの本を読んでみられてはいかがでしょうか。



Love In Again2012

西口 重秋 (茨木高32期)



8月25日、大阪千日前のライブハウス「アナザードリーム」にてラブインアゲインライブを行いました。今年で二回目になりますが、出場バンドは茨木30期、32期、34期、ヤンカミバンド、32期個人のダンス、それから新しく追手門高校生の2世バンドが結成され出場いたしました。親が追手門、高校生も追手門在校生というメンバーです。2世バンドは昨年10月より活動開始し、練習は30期のセミプロメンバーにプロデュースしていただき、本番では他のバンドに負けない演奏でした。親子でラブインアゲインに出れたのが感動し、出場バンド全員すごく満足感があり、最後は神谷先生の教員30周年おめでとうサプライズもありと、大成功のライブとなりました。

『音楽の内に生きる』を聞いて

秋山 陽彦 (小59・中2期)

演者の湯浅卓雄氏は追手門小出身(小74期)である。指揮者として主として英国を中心に世界中で活躍しておられる。

幼少より多くの楽器に親しまれ、早くから海外、とくにウィーンに留学され、才能を伸ばして来られた。

現在、演奏活動のかたわら、東京芸大で講義をしておられる。氏がとくに強調されたのは、近ごろの日本人留学生は「教わる」のは巧いが、「学ぶ」ことをしない、という事である。

教わって巧くやるだけでは不十分である。ベートーヴェンの第5の冒頭を例にとり、「タタタ、ターン」にするか「ダダダ、ダーン」にするか、それとも「ズズズ、ズーン」にするか、譜面には書いてないが、自分はこうでなければならないと考えて主張を出すことが必要であると、ユーモアを交えて話された。

私見だが、どうもこれは世界的傾向の様に思われる。かたくるしくなく、たのしい一刻であった。



10月19日 大阪城スクエア大手前ホール